



松藤会グループ広報誌

まほろば

「地域にいきる」を支えます

TAKE FREE

ご自由に
お持ち帰りください

Vol. 67

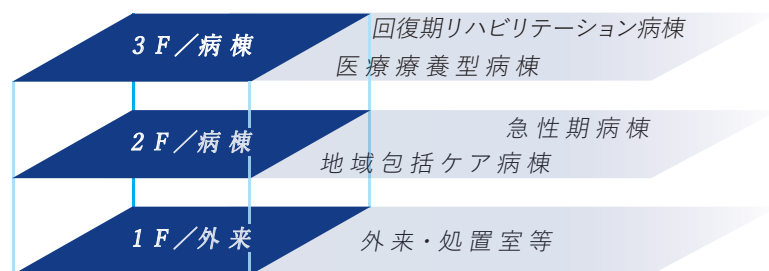
2021 WINTER



特集 病院のこと知ってほしい

入江病院ってどんな病院？

できること、お伝えします。



病棟紹介

急性期病棟

(2A病棟)

急性期疾患の治療・回復を目的とした病床です。内科・外科・脳神経外科・整形外科等の混合病棟で、検査・手術が必要な場合や集中的な治療が必要な時期から安定するまでの方を受け入れています。

地域包括ケア病棟

(2B病棟)

急性期治療を終え、病状は安定したが、すぐに在宅復帰・施設復帰するには不安がある方に対して、復帰に向けた診療、看護、リハビリテーションを行ない、安心して退院していただけるように支援する病棟です。また、在宅での生活動作が低下した方の短期集中的なサポートも行います。

回復期リハビリテーション病棟

(3A病棟)

脳血管疾患、大腿骨頸部骨折など対象となる疾患の急性期治療を終えて、症状が安定した方に対して、身体機能・基本動作能力の向上、ADL(日常生活活動)能力の向上と在宅復帰を目的とした集中的なリハビリテーションを行う病棟です。

医療療養型病棟

(3B病棟)

急性期での治療後、引き続き医療提供の必要性が高く、病院での療養が継続的に必要な方が対象となる病棟です。医師・看護師・リハビリなどがチームで連携を図り、在宅復帰に向けた退院支援も行っています。

退院に向けての支援

退院後の生活を見据えて

リハビリテーション

当院では、発症あるいは手術後早期の急性期リハビリから回復期、在宅までの各病期に応じて、理学療法・作業療法・言語聴覚療法を行っています。様々な疾患によって生じる障害を対象に、身体機能の改善のみならず、日常生活動作訓練を行い、在宅復帰(退院)された方が、再び社会復帰・参加できるようサポートします。

住み慣れた地域で過ごすために

地域連携室

退院される患者さんが、住み慣れたこの地域でいきいきと自分らしい生活ができるよう、支援します。私たちは医療機関同士が互いに連携を取り合い、切れ目のない医療を提供するための部門です。患者さん、家族さんのご意向に耳を傾けながら、地域の医療機関、介護施設、訪問看護師や介護支援専門員との連携が円滑に行えるように努めています。

入江病院ってどんな病院？

いりえ **NAVI**

「入院診療編」

ケアミックス病院ってなに？

病棟によって違いがあるの？

退院後が不安…リハビリできる？

■急性期から回復期、看取りまで
病院の中で大きな部分を占めるのが「入院機能」です。患者さんが入院をされる場所を病棟と呼びますが、その病棟には様々な種類・役割があることをご存じですか？
実はそれぞれの病院が持つ病棟は異なるのです。例えば、高度な医療に特化して1つの病棟しか持たない大病院もあれば、一般病棟に加えて専門性の高い病棟を備えた病院などもあり、それぞれの病院がそれぞれの役割を担って、中播磨地域全体の医療を支えあっています。
その中で、入江病院は急性期病棟から回復期病棟、療養病棟など、4つの病棟を備えており、これをケアミックス病院と呼びます。ケアミックス病院の最大の特徴は1つの病院で、一般的な診療から治療、手術後のケア、リハビリ、そして看取りに至るまで、一貫して患者さんの状態・状況に合った医療サービスを提供できることが挙げられます。
一方で、大病院で治療を終えた方が在宅復帰を目指すために集中的なリハビリを行ったり、在宅医療を受けておられる方が一時的に入院することもできます。

■高齢者が安心できる医療を
超高齢社会でいきる現代、地域にお住まいの高齢者が、いざというときに対応できる病院が必要です。前号でも紹介しましたが、高齢者に対する総合的な診療は入院診療においても同様です。さらにリハビリやソーシャルワーカーが介入することで退院後の生活にも視点をおき、高齢者が安心して生活できる地域の実現を目指しています。

＼ちょっとええよ～／

管理栄養士の おすすめ食材&レシピ

栄養は「元気」の源です

ごま油風味の
大根とさつまあげの炊いたん

さつま揚げの旨味をたっぷり染み込んだ大根は格別です。ごま油の風味がアクセントになり、お箸がすすみます。小松菜の代わりに大根の葉を使用しても美味しいですよ。



[材料／2人前]		① 顆粒和風だし	小さじ1
大根	300g	① しょうゆ	大さじ2
さつま揚げ	200g	① 酒	大さじ1
小松菜	5株	① みりん	大さじ1
水	400ml	ごま油	小さじ1

[栄養価表]

	男性目標値	女性目標値	大根の煮物
エネルギー	2,000kcal	1,650kcal	160kcal
たんぱく質	60g	50g	15g
野菜	350g	350g	120g
塩分	7.5g未満	6.5g未満	1.2g

※ 目標値は、男女ともに50歳～69歳の方を対象にした1日あたり摂取目標値を示しています



管理栄養士が収穫した大根です

大根の消化酵素が胃腸を整える

大根の根の部分には、でんぷんの消化酵素であるジアスターゼが多く含まれており、食物の消化を助けるとともに腸の働きを整えてくれる効果があります。お餅を食べ過ぎて胃もたれを感じている方は、大根料理を食べてみてはいかがでしょうか。

[作り方]

- 大根は皮を剥き、4等分の輪切りにし、面取りをします。小松菜は根を切り落とし、5cm幅に切ります。さつま揚げは半分に切ります。
- 鍋に水と大根を入れ、強火にかけます。
- 沸騰したら中火にし、①を入れ、さつま揚げも加えて15分煮込みます。
- 小松菜も加えてさらに5分煮込み、大根に火が通ったのを確認したら火から下ろします。
- 器に盛り、ごま油を回しかけて、白いりごまを散らして完成です。

☆ 料理のコツ・ポイント

大根は皮を厚めに剥き、面取りをすることで味が染み込みやすくなります。小松菜は火が通りやすいので必ず最後に入れてください。



ごまをプラスして免疫力アップ
ごまに含まれる不飽和脂肪酸には免疫力を高める作用があります。

コロナに負けるな!

理学療法士の 自宅で簡単にできる ストレッチ法

Vol.03



今回は在宅勤務などで起こりやすい首こり・肩こり・腰痛に効くストレッチをご紹介します

ストレッチの
効果

ケガをしにくい
冷え・むくみの改善
姿勢改善
リラックスできる

首のストレッチ



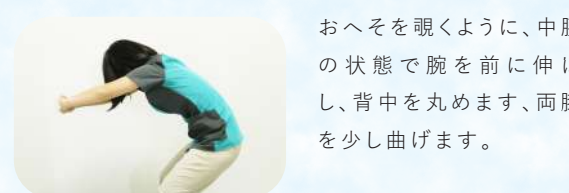
両手で頭を抱えて、前に倒します。
頭の力を抜いて、ゆっくり横に揺らします。

わき腹のストレッチ



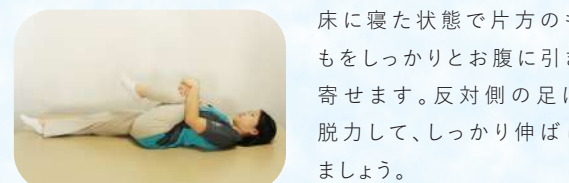
足を肩幅に広げ、手首をつかんで
横に引っ張ります。

腰のストレッチ



おへそを覗くように、中腰の状態で腕を前に伸ばし、背中を丸めます、両膝を少し曲げます。

股関節・お尻のストレッチ



床に寝た状態で片方のものをしっかりとお腹に引き寄せます。反対側の足は脱力して、しっかり伸ばしましょう。

肩のストレッチ



バンザイした状態から、肘を斜め下に向けて引きま
す。胸を張って、肩もしっかり下げましょう。

腰・お尻まわりのストレッチ



背中を床につき、両膝を抱えて、
小さく縦に揺れます。

肩・腰・背中のストレッチ



四股のポーズで肩を前に入れ込みます。両膝はしっかり開いて曲げます。体をしっかりねじりましょう。

ストレッチは力を入れず、リラックスして、ゆっくり行います。
できるだけ、息を吐きながら無理をせずに行いましょう。



特別企画

withコロナ

いつもと違う医療・介護現場
みんなで乗り越えよう

日本で新型コロナウイルスが確認されてから一年が過ぎました。当たり前の日常が奪われ、計り知れないほどの不安と恐怖が降りかかっています。

医療や介護の現場でも感染対策に奔走し、多くの制限を受けながら患者さんや利用者さんのケアを行っています。この企画では、そんな現場のいまをお届けします。

今号のお話

令和2年12月、介護老人保健施設ゆめさきの通所リハビリの利用者さんが新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。その時の様子や改めて感じたことについて中安事務次長にインタビューを行いました。

連絡を受けて

「とうとう来たか」という印象でした。これまでに市内の複数の事業所で感染者が出ているという報道も聞いていましたし、マニュアル作成や勉強会を行っていましたから、慌てることはありませんでした。初動体制も問題無く対応できたと思っています。

迅速な休止判断

連絡が日曜日の朝であったため、すぐに関係者に緊急招集をかけ、施設の判断で安全を最優先

し、通所リハビリの休止を決定しました。

その後は濃厚接触者の特定やPCR検査の受検者リスト作成、利用者やケアマネジャー、関係各所へサービスマネジメントの連絡を分けして行いました。検査結果が出るまでは通所リハの全職員を自宅待機としたので利用者情報が少ない中で奔走しました。PCR検査は該当する全ての利用者のご自宅まで伺い、検体採取を実施するなど、事務所、入所フロア職員も総動員で対応しました。後日届いた検査結果は該当者全て陰性で、施設内での感染拡大

が無かった事は本当に良かったと感じています。

2週間の自宅待機

現場で困ったことに関して、まずは「人手不足」ですね。濃厚接触者の2週間自宅待機を含め、通所リハ職員が全員自宅待機でしたので。看護師はもとより人数が足りないため、看護師長や顧問といった現場責任者が一日中外回りをしなければならぬ状況でした。そして何より困ったのは利用者の日常生活のフォローでした。

『感染拡大を防ぐこと』と『利用者の生活を守ること』の2つが同時にいかかってきました。利用者からは「早く再開してほしい」「せめてお風呂だけでも」という声が多く聞かれましたが、我々ははっきり言って何もできませんでした。検査結果が確認され出勤できる職員もいたのですが、それでも半数以上が自宅待機となっていましたので。

感染は完全には防げない

今回の件で本当に利用者の皆様にはご迷惑をお掛けしました。我々に来ることは感染対策を徹底することです。しかしながら感染は完全には防げないという



ことがよくわかりました。今回は1人の陽性者から最終的に100人近い利用者のサービスマネジメント停止を余儀なくされました。今後リスクと被害を最小限に抑え込む方法を考えていかなければなりません。そのためには利用者とその家族の皆様にも普段からの感染対策を行い、体調変化があれば職員に伝えて頂くなどのご協力が必要となってきます。何か気がかりなことがあったら遠慮なく伝えてほしいと思います。正しい情報を正しく対処することで被害は小さくできると思います。

今のような状態がずっと続くかどうかは分かりませんが、少なくとも「With(ウィズ)コロナ」、コロナとの共存する時間はしばらくは続くでしょう。その中で我々が地域包括ケアの中核であるという自覚のもとに、法人全体が一丸となりこの難局に立ち向かっていきたいです。

新型コロナウイルス感染症関連

感染対策強化中

発熱や呼吸器症状などがある場合の受診方法について



1 発熱や咳などの
かぜ症状が出現する

2 まずは当院へお電話を
お願いします

3 医師の判断で、必要に
応じて検査を実施します



079-239-3121

当院では、希望による新型コロナウイルス感染症の検査(PCR検査、抗体検査、抗原検査など)は行っておりません。

受診前に確認

- 症状(いつ頃から、どのような症状があるか)
- 身近に体調の悪い人がいなかったか
- 1週間の行動歴や人との接触歴は
- 現在治療中の病気や服用中の薬など



Interview

『夫婦で築いた40年』

今号の表紙を飾っていただいたのは、昨年で開業から70年を迎えられた大木米穀(駅前町)の大木博幸さん、和代さんご夫妻です。先代からお店を引き継ぎ、地域の人に愛され続けて40数年。仲睦まじく笑顔の絶えないご夫婦にお話を伺いました。

実は、お米は生鮮食品なんです。お米は生きもの”ですから、精米にはこだわっています。一般的にお米は精米してから日が経つにつれて、風味が落ちてしまいます。食べて頂く方に美味しく召し上がっていただけるよう、こまめに精米を行い、精米直後のお米を提供できるよう工夫をしています。

40年という月日はあっという間だったように感じます。子どもたちがまだ小さな頃はお店を営む傍ら、毎日の通学を見送り、学校から帰宅した様子を親として見守っていました。一方で、子どもたちも私たちの夫婦が働く姿を見てくれていたようで、配達の手伝いなどを積極的に行ってくれました。お店では仕事の話半分、子どもたちの話半分。多くの人たちに支えてもらいながら、夫婦で共に築いた40年だと思います。



急性期医療から回復期リハビリ、施設介護、そして在宅医療まで。

「安心と満足」の医療・介護で地域を支えます。



社会医療法人
松藤会

「地域に生きる」を支えます

表紙のおはなし

当法人では「**地域に生きる**」を支えますを合言葉に地域医療・福祉に取り組んでいます。
そして、広報誌まほろばでも地域の皆さまとのコミュニケーション、繋がりを大切にしたいと思っています。
中面にインタビュー記事がありますので、どうぞご覧ください。
今号の表紙：大木米穀 大木博幸さん、和代さん

入江病院

〒672-8092 姫路市飾磨区英賀春日町2丁目25番地
TEL.079-239-3121（代）
併設事業所：短時間型通所リハビリテーション
訪問看護ステーション

介護老人保健施設 ゆめさき

〒671-1103 姫路市広畑区西夢前台6丁目56-1
TEL.079-237-8735（代）
併設事業所：居宅介護支援事業所

サービス付き高齢者向け住宅 リリーフあがほ

〒672-8092 姫路市飾磨区春日町2丁目11番地
TEL.079-238-5855

